



2024 年 あけましておめでとうございます 市民に寄り添い、くらしと平和を守る 1 年に



市民の声が届く市政へ
みなさまと一緒に

上野 みえこ

昨年は 4 月に市議選が行われ、市政も節目の年でした。議会の会派構成も変わり、始まった市議会は課題が山積です。

昨年から続く物価高騰が止まらない中で、厳しい市民生活をよそに、500 億円以上かかるとされる市庁舎整備について、市長は「建替える方向ですすめる」と表明し、市民の意見が聞かれないまま建替えが急速にすすめられようとしています。市民の声を聞かない市政でいいのでしょうか。いただいた 7 期目の切符を最大限に生かして、みなさまの声を議会にしっかり届けて頑張ります。

軍事費が 8 兆円に迫る軍拡路線と一体にすすむ社会保障切捨ての国の悪政のもと、その防波堤となるべき熊本市政の在り方が問われます。「いのちと平和」を守る市政へ、今年も全力投球です。



激動の年を変革の年に

いせり 栄次

激動の年が始まりました。昨年、議会に送って頂き 8 か月が過ぎました。議会のたびに痛感するのは、市民不在で大型開発優先にまい進する市政のありかたです。市民のくらし・福祉に寄り添い、宝の水地下水の保全、市民合意のない市庁舎建て替えなどしっかりただしていきます。国際的にみれば、戦争などの逆流も生まれていますが、一部の大国の支配から抜け出して、国際世論で包囲し平和な社会へと向かわなければなりません。

昨年末に発覚した、自民党の「政治と金」の底なしの腐敗政治。国民の怒りは沸騰しています。この怒りを政治変革のエネルギーに転換させていきます。

今年が、希望ある未来への出発点になるように頑張ります。

【低所得世帯への給付金】 給付が少し早まり、1 月末から支給開始

心待ちにされている 1 世帯 7 万円の低所得世帯への給付金は、12 月議会で日本共産党市議団が支給を早めることを一般質問・委員会などで取り上げ、1 カ月前倒しの 2 月初旬支給になっていましたが、さらに少し早まり、1 月末支給開始となりました。

市民の声が届いたことの成果です。



日本共産党

熊本市議会だより

NO. 1352
2023 年 12/31・24 年 1/7 号
電話 328-2656
FAX 359-5047



熊本市中央区手取本町 1 - メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
発行: 日本共産党熊本市議団 共産党 熊本市議団

検索

【市民アンケート】 建替えに「肯定的な意見」、「不要の意見」は拮抗 庁舎建替えの是非は、市民に問うべきではないでしょうか

12 月 19 日、「庁舎整備に関する特別委員会」が開かれました。9 月に行われた市民アンケート、7・8 月に行われた職員アンケートの報告と、10 月末日締切りで実施されたサウンディング調査の概要が報告されました。上野みえこ議員が、問題点を指摘しました。

建替えは、市長の独断ですすすめるべきではない

市民アンケートの「自由意見」記述では、建替えについて、

- ・肯定的な意見 504 件
- ・不要の意見 384 件
- ・慎重な検討 81 件

でした。「肯定」504 に対し、「不要・慎重」が 465 です。

建替えの是非が聞かれていないのに、「肯定」と「不要・慎重」の意見が拮抗するのは、「必要なし」と考える市民が多いからではないでしょうか。上野議員は、市長の独断ですすすめるべきではないと指摘しました。

アンケートで建替えの是非を聞かないのは 「市長が建替えると表明しているから」との答弁

特別委員会では、上野みえこ議員が「なぜ、市民アンケートで建替えの是非を聞かないのか？」と質したのに対し、執行部は「市長が建替えると表明しているから」と答弁しました。さらに「市民の声はどのように把握しているか？」と質問する

と、政策局長は「市民の声は存じていない」と答弁しました。市民の声は聞かずに、市長の独断で建替えをすすめる市のやり方が浮き彫りになりました。このような市民不在の市庁舎建替えは絶対にすすめるべきではありません。

建替え場所の検討よりも、「市民の意見」が最重要

10 月末締め切りだったサウンディング調査は、19 法人・17 グループの提案があったこと、その後継続して募集する中で、4 件の追加提案が出されていることがわかりました。しかし、それぞれの提案内容は説明がなく、なぜ説明しないかすら

わからない状況でした。ところが、「城下まちなかエリア」がどうか、「白川公園」がどうか、場所についての話があるのは本当に変です。建替え場所の検討より、建替えの必要性について、市民の意見を聞くことが最も重要です。

「建替えの必要性」も疑問のままです

「新耐震基準で耐震性能有り」

熊本市は、総務省へ「本庁舎の耐震性能がある」と報告しています。その後の耐震性能評価で「耐震不足が判明した」と言いますが、総務省への報告は訂正されていません。

「機械設備水没も大きく解消」

市のハザードマップで、現庁舎は 6m 水没し機械設備が使用不能になる」と言っていますが、現在国土交通省は、白川の河川改修に伴う浸水想定区域図を見直しており、水没の危険は大きく解消しています。

耐震性能部会・山田哲会長の参考人招致に、 自民・公明・市民連合が反対

熊本自民が提案した有識者会議耐震性能分科会会長・山田哲氏の参考人招致が否決となり、耐震性能分科会の議事内容が解明できません。